



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.11.26 No. 3899

地方線の切り捨て許す 12月改定阻止

11.30. 12.1 不承認

十二月ダイヤ「改正」をめぐる情勢は、大詰の段階をむかえている。

しかし、「日刊」で既報のとうり当局は、団体交渉に対する不誠実な態度を取りつづけ、トップ交渉の開催要求についても「その必要はない」と木で鼻をくくったような態度で拒否しつづけている。

十二月ダイヤ改は、多くの問題点をはらんでいるが、その一つとして地方交通線廃止問題があることは周知のとうりである。

半年の間に 28本もの 列車の 運転 廃止

この間のわずか半年のうちに、実に二十八本の列車の運転が廃止されようとしている。今回特に狙われているのは、館山・安房鴨川・勝浦間の列車削減であり、通勤、通学の足を直撃するというものである。

儲けだけを追及し、地域の生活を破壊する地方交通線の廃止は、断じて認められるものではない。

われわれは、この間、公共性を切り捨て、採算だけを追及する地方線の切り捨ての撤回を求め、精力的に団体交渉を求め、関係市町村への要請を行ってきたところです。しかし、千葉支社当局は、われわれの要求や、市町村からの要請を一切聞きいれずダイヤ改を一方的に実施しようとしているのである。

われわれは、ここに至って黙って事態を見過すことはできない。現場の怒りを結束させ、合理化粉砕、解雇撤回を中心にすえて、地域住民の「要請」に応えるために11・30と12・1スト貫徹の態勢を万全に築きあげようではないか。

労働者ら生き陣あう 11.21 国会議員選挙の輪

2400余名の参加者は、
決意新たに全国に散った



本集会では、各団体の代表がそれぞれ

十一月二日、日比谷野音で開催された「小選挙区制粉砕、細川政権打倒、全国集会」は、衆議院での強行採決への怒りと、細川政権許さずの熱気をピンピン感じる集会としてかちとられた。
THE・NEWSの爆烈ライブで前段集会は始まる。
ビートのきいたエレキに合わせ、パンチのきいた歌は腐りきった今日の政治・国会を根幹から揺がす迫力あるものであり、四分はアツトいうまに過ぎた。
続いては、学生による寸劇「模擬国会」である。一生懸命演じる学生たちの劇に会場は笑いと声援につつまれた。

小選挙区制は戦争と独裁の道、「細川政権の仮面をはぎとれ」等と怒りに満ちた発言がつづき、全参加者も新たに今日の恐るべき情勢を認識し、各々の課題を確認し、都心デモを貫徹してきた。
沿道では「ガンバレ」といった声援なども見られるなど、闘いはこれからという印象を強くもった。
小選挙区制、政党法という戦後最悪の動法案をめぐる攻防は、いよいよ参議院階に移っている。十一・二一集会の成功を突破口に11・30と12・1ストライキを貫徹し、さらに闘いの輪を広げ、細川政権打倒にせまろう。

11/21

小選挙区制粉砕
国会議員選挙の輪

怒りの 国会デモ貫徹